



身を守る行動が、一段と確かなものに

～火災を想定した避難訓練～

5月13日(水)、避難訓練を実施しました。今回は1年生にとって初めての訓練ということもあり、授業中に1階の家庭科室から火災が発生したという想定で行いました。

非常ベルが鳴り、教頭先生の「1階家庭科室より火災が発生しました。東側の4・5年生の靴箱から避難してください」との放送が流れました。子どもたちは各教室で事前に学習した「おはしも(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)」を意識し、素早く避難行動を起こします。

校舎を出てからは、子どもたちは運動場の避難場所へと走って移動。私は、その避難場所で子どもたちが避難してくる様子を見ていました。最初に校舎から出てきたのは4・5年生。その後2・3年生と続きます。先に到着した子どもたちは、自ら静かにし、後から避難してくる友達を待っています。

最後に、避難経路である4・5年生靴箱から遠い1年生と6年生が走ってきました。よく見ると、6年生が自分よりも走りの遅い1年生のそばに寄り、一緒に避難しているのです。自分の身の安全だけでなく、下級生の安全をも守ろうとするこの最上級生の姿を、大変すばらしく頼もしく思いました。

避難後の終わりの会で、「おはしもを守れました」「あわてず避難ができました」

等の子どもの感想がありました。確かに子どもたちは、これまでの訓練の経験を生かしながら、落ち着き、静かに、素早く行動することができ、立派な避難行動がとれていました。



ややもすると、形式的なものになりがちですが、ひとつひとつの訓練に臨む真摯な姿勢は、次の「いざ」に必ず役立つものと確信しています。

「もっと元気にあいさつしたほうがいいんじゃない」と、校長室の前

「もっと元気にあいさつしたほうがいいんじゃない」

「校長先生、おはようございます!!」と、校長室の前

を通る度に顔を覗かせて、笑顔であいさつをしてくれる6年生がいます。いつも私に元気を与えてくれるものとなっています。

ある日のこと、その6年生に、「最近、みんなのあいさつはどう?」と尋ねてみました。すると、「前よりもあいさつに元気がないようです」との返答後、「“もっと元気にあいさつしたほうがいいんじゃない”と言ったことがあるんです」と、付け加えてくれました。

周囲のあいさつの様子から、「元気のなさ」の現状に自ら気づき、提案できるこの6年生の姿は、まさに本校のめざす「自ら気づき考え挑戦する」姿そのものです。

早速5月の児童集会の折、6年生の姿を全校に紹介しました。

「育ったオクラで

いっぱい料理が作れるといいなあ・・・」

5月14日(木)の朝、1年生が一人で苗に水やりをしています。私が「これは何の苗かな?」と尋ねると、「オクラの苗」と教えてくれました。どうやら前日の生活科の学習で、1・2年生が学級園に、オクラとトマトの苗を植えたのだそうです。

一人一人がお世話する苗が決まっており、この日から自分の苗のお世話が始まったようです。

しかしこの1年生は、何度もしょうろに水を汲みに行き、水やりがまだできていないお友達の苗にも水をやっています。水で重たくなったしょうろを一人で何度も何度も運んでいるのです。そして、水やりをしながら「育ったオクラでいっぱい料理が作れるといいなあ」と私に語ってくれました。その顔は、生き生きとしています。



この1年生の願いが届き、夏には立派な野菜が育つことでしょう。

学校経営方針を承認していただきました

～第1回学校運営協議会～

5月19日(火)、今年度最初となる学校運営協議会を開催いたしました。会では、子どもを中心に据え、時代の変化に即した“変革”と“挑戦”をしながら、学校教育目標『自ら気づき考え挑戦し、ともに高め合う 北杵築子の育成』をめざしていきたいという今年度の学校経営方針についての承認をいただきました。

また、委員から、「本校には部活動はあるのか」等のご質問や、「数少ない職員で、さまざまな業務をこなしていくのは大変である。事務的な仕事を思い切ってカットしていくとよいのでは」というご意見をいただきました。

ニュースとなっている部活動遠征や働き方改革を踏まえ、子どもたちと我々教職員の安全・安心・健康確保の視点からのご質問・ご意見を大変ありがたく、今後の教育活動に生かしてまいりたいと思います。